

ASPAC

空気熱源ヒートポンプユニット

ドレンレス・スポット空調機

更新用

レスQ

(AQR14AA型)

**Air-Source
Prefabricated
Air-Conditioner**

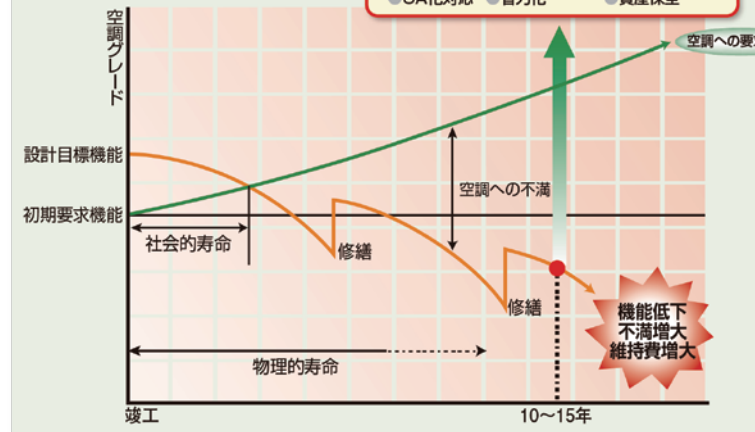


日本ピーマック株式会社

長年ご愛用いただいている空調機は、 年数を経ることで、性能が低下しています。

空調リニューアル

- 個別空調 ●省エネルギー ●イメージアップ
- OA化対応 ●省力化 ●資産保全



特徴

簡単施工

旧機種 (AQP14CL) と外形寸法は同等のため簡単にリニューアル工事が可能

インバータ化

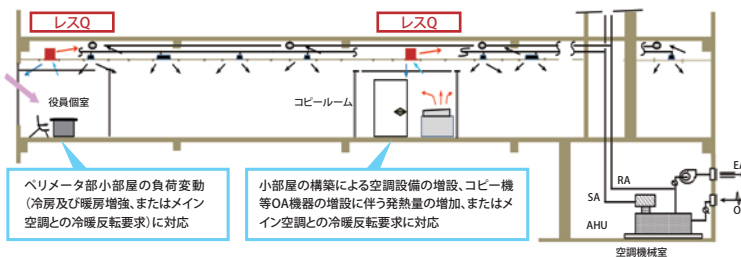
省エネ性向上、刻々と変わる負荷変動に柔軟に対応

静穏性向上

AQP14CL:46.0dB(A)
AQR14AA:41.0dB(A)

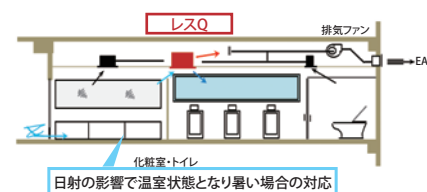
設備例

【事務所内への設置例】



レスQの熱源は、メイン空調系のRA(還気)です。また、熱交換したRAの1/2は天井内へ排気(EA)されますが、RAダクトにて回収されてAHUで熱負荷処理します。

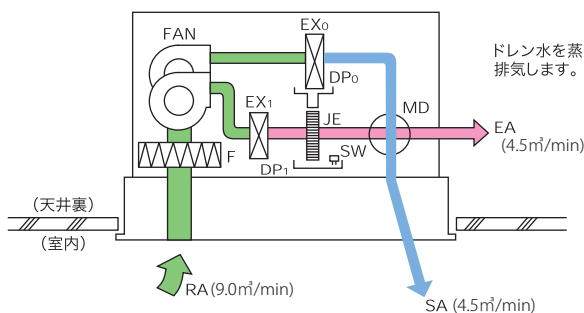
【化粧室・トイレへの設置例】



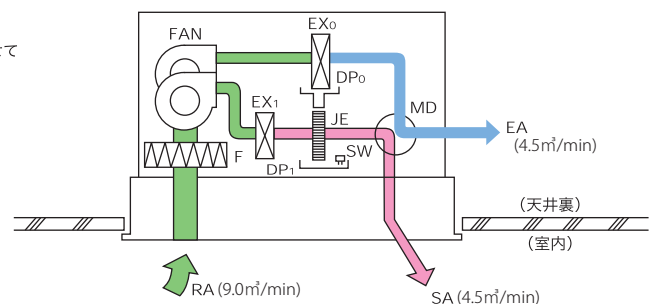
レスQの熱源は、メイン空調系の余剰空気です。また、熱交換した余剰空気の1/2は天井内へ排気(EA)されますが、排気ダクトにて回収されて排気ファンで排出します。

エアフロー図

〈冷房運転時〉



〈暖房運転時〉

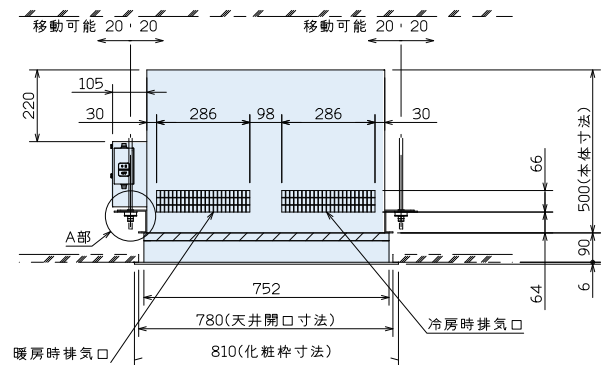
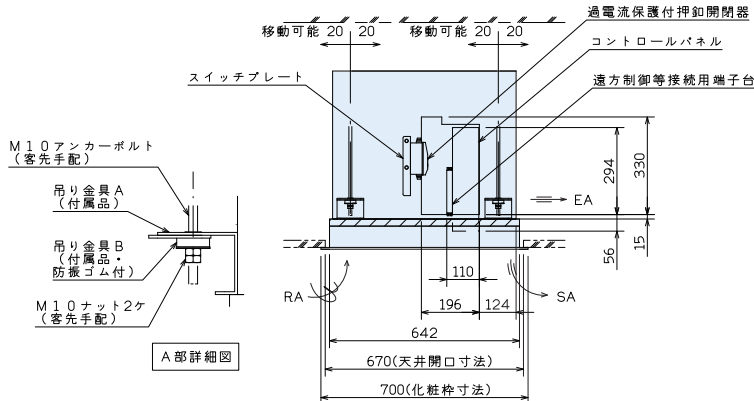
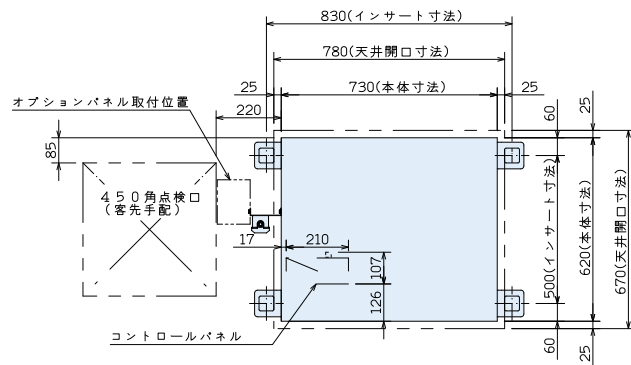


- | | | | |
|------------|-------------|-----------------|-----------------------|
| SA : 室内側給気 | F : 高性能フィルタ | DP0 : 蒸発器側ドレンパン | SW : ドレンセンサ |
| RA : 室内側還気 | EX0 : 蒸発器 | DP1 : 凝縮器側ドレンパン | MD : 連動給排気用モータダンパ |
| EA : 室外側排気 | EX1 : 凝縮器 | JE : 蒸発エレメント | FAN : 送風機 (二連シロッコファン) |

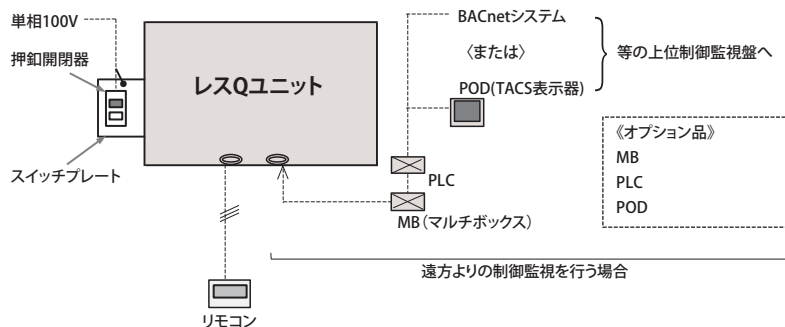
外形寸法図

注 記

- 1: 本体から天井裏へ直接排熱するため、天井裏が主空調のRAチャンバーであるか、別途排気システムを御配慮ください。
- 2: 室内吸込風量の半分を天井裏へ排気するため室内が負圧にならないように主空調システム側で御配慮ください。
- 3: 点検口及び、本体排気口の周囲500mm以内にダクト等の障害物がないように注意してください。
- 4: 電気配線工事及び、吊り金具Bの取付け、本体吊り込み、化粧板取付け、オプションパネルの取付けは、客先工事となります。
- 5: アンカーボルト(M10×4)、ナット(M10×8)、450角点検口は、客先にて御用意ください。
- 6: 本体吊り込み後、本体高低差が最大10mm以内に収まるように微調整してください。
- 7: 単独運転を避けるため、中央型主空調機(パッケージ等)のインターロックを必ず取ってください。



電源及び制御配線



<リモコン>

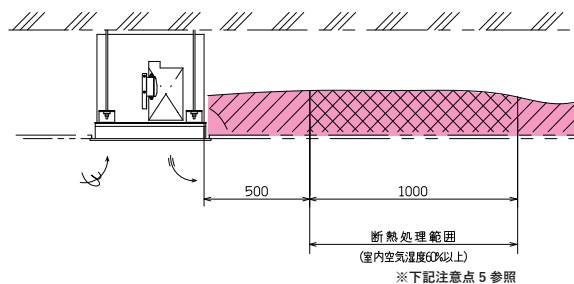
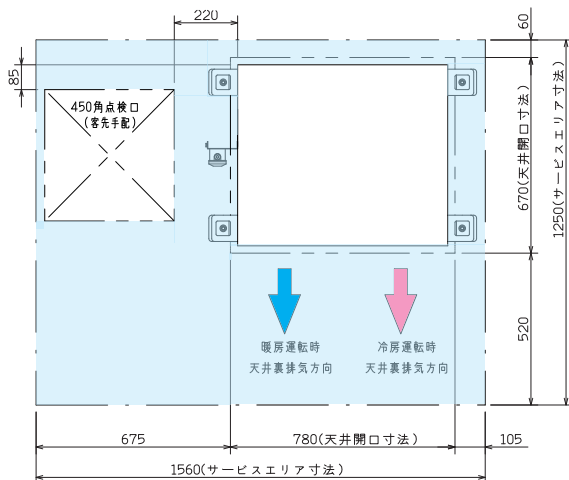
スタンダードリモコン



スリムリモコン

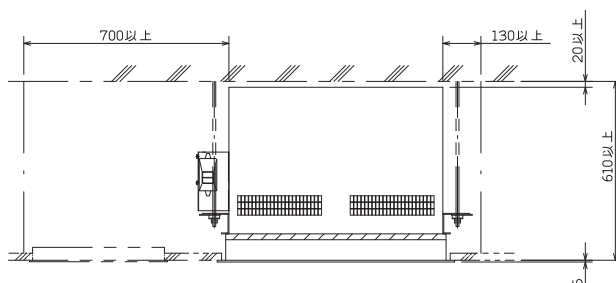


設置場所選定条件



設置場所に関する注意点

- 1: 設置場所は、ユニット質量に充分耐える構造の場所を選定してください。
- 2: 外気が入りやすい扉や窓の近くに据え付ける事は、できる限り避けてください。(吹出吸込口に露が付いたり、露飛びの原因となります)
- 3: 吹出吸込口付近に障害物を設置しないでください。(結露及びショートサーキットの恐れがあります)
- 4: 後日のメンテナンスサービスに支障をきたすため、ユニット及び点検口の直下には障害物などを配置しないでください。
- 5: 天井裏排気口の前方500mm以内にはダクトなどの障害物がないようにしてください。特に天井裏排気チャンバ仕様の冬期暖房運転において室内空気の相対湿度が60%を超える場合には、天井裏排気口の前方500mm以上離れた場所外の障害物でも結露する可能性があるため図に示す範囲に断熱処理を施してください。



項 目		単 位	AQR14AA L	
性 能 ※1	冷 房 能 力	kW	1. 4 (0. 7～1. 4)	
	暖 房 能 力	kW	1. 6 (0. 8～1. 6)	
	定格冷房運転時の顕熱比		—	0. 72
	エネルギー消費効率	定 格 冷 房	—	3. 04
		定 格 暖 房	—	2. 81
冷 暖 平 均		—	2. 92	
電 源		V/Hz	単相 100V 50/60Hz	
電 気 特 性 ※1	冷 房	定 格 消 費 電 力	kW	0. 460 (0. 160～0. 460)
		定 格 運 転 電 流	A	5. 8 (2. 2～5. 8)
		定格運転力率※2	%	79
	暖 房	定 格 消 費 電 力	kW	0. 570 (0. 150～0. 570)
		定 格 運 転 電 流	A	7. 0 (2. 0～7. 0)
		定格運転力率※2	%	81
最 大 運 転 電 流		A	9. 2	
コンプレッサ	型 式	—	全密閉ロータリ型	
	定 格 出 力 × 台 数	kW	0. 5×1	
送 風 装 置	フ ァ ン 型 式 × 台 数		—	シロッコファン×2
	風 量	m ³ /min	室内吸込風量	急：9. 0, 強：8. 0, 弱：6. 5
			室内給気量	急：4. 5, 強：4. 0, 弱：3. 2
			天井裏排気量	急：4. 5, 強：4. 0, 弱：3. 2
	機 外 静 圧		Pa	0
ファンモータ定格出力		kW	0. 09	
熱 交 換 器	室 内 給 気 側	—	プレートフィン型	
	天 井 裏 排 気 側	—	プレートフィン型	
冷 媒 (GWP値) ・ 封 入 量		kg	R410A(2090) ・ 0. 46	
蒸 発 機 構			自然蒸発式蒸発エレメント	
保 護 装 置	コ ン プ レ ッ サ		—	カレントランス
	フ ァ ン モ ー タ		—	DC過電流, オーバーヒート
	制 御 回 路		—	ヒューズ
	そ の 他		—	フオートスイッチ
電 源 接 続 部		—	押釦開閉器 (過電流保護付 定格電流10A)	
運 転 音 ※3	冷 房	dB (PWL)	55	
	暖 房	dB (PWL)	56	
外 形 寸 法 (高さ・幅・奥行)		mm	500×56<590+6> ・ 730<810> ・ 620<700>	
製 品 質 量		kg	55<67>	
本 体 付 属 品		吊金具, 蒸発エレメント, フィルタ (比色法65%)		
工 事 用 付 属 品 (別 送 品)		吹出吸込口		

(注記)

1. 冷房能力及び電気特性は、室内側吸込空気乾球27℃、湿球19℃(RH47%)、風量急運転時の値です。(※1)
暖房能力及び電気特性は、室内側吸込空気乾球20℃、湿球13.8℃(RH50%)、風量急運転時の値です。(※1)
2. 力率の値は総合力率です。(※2)
3. 冷暖連続運転範囲は、吸込空気相対湿度70%以下です。
範囲を超え高湿度条件で使用した場合、ドレン蒸発能力の限界を超え乾燥運転状態(送風運転)となります。
また、運転可能範囲については「冷暖房使用限界範囲図」を参照ください。
4. 運転音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015及びJRA 4002:2013 Rに規定した値です。(※3)
音圧レベル(SPL)は表1の値となります。
表1に示す値は、ユニット直下1.5mの無響室データです。
運転条件は弊社標準条件、定格出力、急風運転時です。
5. 本製品には漏電遮断器(高調波対応品)を必ず設置ください。
選定については技術資料「インバータユニットへの電源供給について」をご参照ください。
6. 本仕様書は標準仕様での内容を記載しています。
7. 仕様は改良により変更することがあります。

表1.音圧レベル(SPL)

運転状態	dB(A)	NC
冷房(定格)	41.0	34.5
暖房(定格)	42.0	35.5

安全にご使用いただくためのご注意

- このカタログに掲載の空調機ユニットは、対人専用の冷暖房装置です。
 - (1)食品、動植物、精密機器、美術品等の保存など、特殊用途には使用しないでください。
品物の品質低下等の原因になることがあります。
 - (2)車輦、船舶の空調用としては、使用しないでください。
水漏れ、漏電の原因となります。
- 下記のような特殊用途で使用する場合は、事前に弊社営業マンにお問い合わせください。
 - (1)低温、低湿条件で24時間運転する場合。
 - (2)沿岸地域(塩害)で使用する場合。
 - (3)井水を熱源水に使用する場合。(PMACの場合)
 - (4)温泉地域で使用する場合。
- ご使用場所について、下記にご注意ください。
 - 可燃性ガスの漏れる恐れや引火物があるところへは、設置しないでください。
可燃性ガスの発生、流入、滞留の恐れのある場所や、カーボン繊維が浮遊する場所では、火災の原因になることがあります。
- 据え付けに際して、下記にご注意ください。
 - (1)ユニットや別売品の据え付けは、販売店様または専門業者様に依頼してください。
ご自分で据え付け工事をされ不備があると、水漏れや、感電、火災の原因になります。
 - (2)OA機器、医療機器等の電気、精密機器の直上にユニットを設置しないでください。
後々のメンテナンスができなくなる場合があります。
 - (3)フィルタなどの別売品は、必ず当社指定品を使用してください。
- ユニットのご使用は「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。



日本ピーマック株式会社

ホームページ <https://www.pmac.co.jp>事業所一覧 <https://www.pmac.co.jp/corp/map.html>